

大阪大学医学部附属病院

循環器内科のご案内

日本は長寿社会を迎え、これからは、生命寿命だけでなく、健康寿命をどう伸ばすかが問われる時代となりました。

我々は、この健康寿命の増進に寄与すべく、3つの特徴を掲げ日夜医療に邁進いたします。

- ① 全身が診られる専門家集団：虚血性心疾患、不整脈、弁膜症、成人先天性疾患、心不全の専門家がチームで患者さんの全身を診療します。
- ② 地域医療を考える大学病院：北摂、大阪府下を中心に30を超える病院と連携し、地区ごとに役割分担をしながら地域医療を守っています。
- ③ 日本の循環器医療最後の砦：「我々が諦めるということは、日本が諦めるということ」を合言葉に、心臓血管外科と連携し、患者さんの最善を目指します。

是非、先生方のお力になりたいと思います。

大阪大学医学部附属病院 循環器内科をどうぞよろしくお願いいたします。

大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 坂田 泰史



不整脈部門

心不全部門

SHD部門

虚血部門

外来スケジュール

先生方からご紹介の初診患者さんを広く受け入れるため、2016年4月より、**初診外来を毎日午前診に拡充し**、さらに、各種専門外来も充実しました。

	月		火		水		木		金	
午前	初診	坂田 泰史 宮脇 大	初診	木岡 秀隆	初診	彦惣 俊吾	初診	大西 俊成	初診	肥後 修一朗
	一般	平野 賢一	循環器・ 脂質	西田 誠	一般	大谷 朋仁	一般	横山 光樹	一般	世良 英子
	一般	中谷 大作	一般	藤尾 慈	一般	岡田 健志	一般	岡山 慶太	一般	中山 博之
午後	心不全	中本 敬	肺高血圧	瀧原 圭子	心不全	大谷 朋仁	一般	増村 雄喜	移植・ 成人先天性	塚本 泰正
	不整脈	南口 仁 小西 正三	デバイス	南口 仁	不整脈	水野 裕八	不整脈	李 鍾國	不整脈	小津 賢太郎
	虚血	井手 盛子	虚血	横井 研介	虚血	市堀 泰裕	虚血	向井 隆	虚血	白記 達也
	SHD	溝手 勇	一般	朝野 仁裕	弁膜症・ SHD	中谷 敏	循環器・ 脂質	小関 正博	一般	神崎 万智子
	一般	松村 泰志							一般	武田 理宏

ご紹介いただく際は、大阪大学医学部附属病院保健医療福祉ネットワーク部までお問い合わせください。

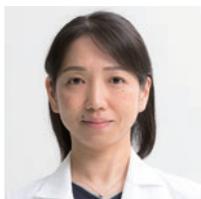
保健医療福祉
ネットワーク部

TEL **06-6879-5080** FAX **06-6879-5081** [紹介・予約に関する直通]

受付時間 月～金 9:00～17:00 (休日、年末年始は除く)

臨床部門のご案内

心不全部門



心不全の原因究明と病態把握を徹底し、高度医療から緩和医療まで幅広くサポート。

心不全主任 世良 英子

原因、病態が多岐にわたる心不全診療において、個々の症例を一から検証し、原疾患の究明と病態の把握を徹底し、的確な診断に基づいた内科的治療を目指しています。治療介入の余地がある二次性心筋症を見逃さないために、心筋生検を含めた多種の検査を行っています。

また、心臓移植・補助人工心臓という大学病院の特色を生かした高度医療から、それら医療の恩恵を受けられない患者さんに対しての緩和医療まで、心臓血管外科とも密に連携を取りながら、心不全の集学的治療を目指しています。特に、近年増加している成人先天性心疾患においては、小児科とも連携を取りながら、幼少期から成人まで一貫したサポートが提供できる体制を作っています。

不整脈部門



難治性不整脈に対して積極的な治療を行い、また最新機器を用いた診療にも対応。

不整脈主任 南口 仁

頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療や徐脈性不整脈に対するペースメーカ治療に加え、当院の不整脈診療の特色としては、心臓移植施設でもあることから、重症心不全に合併する難治性不整脈にも積極的な介入を行い、また、先天性心疾患術後の不整脈に対しても治療を行っています。

また、失神精査のための植込み型心電計装着や、心室性不整脈に対する植込み型除細動器治療、心不全に対する心臓再同期療法、デバイス感染に対するエキシマレーザーを用いたリード抜去術を行っています。ペースメーカのフォローアップに関しては遠隔モニタリングシステムを導入し、病病・病診連携に役立てたいと考えています。

虚血部門



最新の画像診断技術を駆使し難治症例にも対応。また、地域に密着した診療を目指す。

虚血部門主任 溝手 勇 (SHD主任と兼任)

冠動脈多枝病変、高度石灰化病変、慢性完全閉塞病変などの複雑病変をお持ちの患者さんでも、冠動脈バイパス術を含めて最適な血行再建ができるよう治療に取り組んでいます。

カテーテル治療の際は、心臓CTの3D解析ソフトを用いて病変を詳細に解析し、術前に十分な治療シミュレーションを行い、また術中は血管内超音波 (IVUS)、光周波数領域画像 (OFDI) などを駆使して、安全かつ効率的な治療を心がけています。

近隣の医療機関からは心臓CT検査目的で虚血性心疾患疑いの患者様をご紹介頂くシステムも構築し、近隣の医療機関の先生方との病病・病診連携を密にして、地域に密着した診療を目指しています。

SHD (Structure Heart Disease) 部門



心臓外科手術でしか治療出来なかった病気を、低侵襲な最新のカテーテルを用いて治療。

SHD部門主任 溝手 勇

心臓の構造的異常、弁機能の異常、肺高血圧症に対して、カテーテルを用いた新しい治療に取り組んでいます。経カテーテル的大動脈弁植込み術 (TAVI)、バルーン大動脈弁形成術 (BAV)、経皮的中隔心筋焼灼術 (PTSMA)、経皮的僧帽弁交連切開術 (PTMC)、バルーン肺動脈形成術 (BPA) など様々な治療を行っています。2018年度より僧帽弁逆流症に対するカテーテル治療 (MitraClip) もはじめました。技術の進歩に伴い、今後もさらなる発展が期待されている分野です。特に大動脈弁狭窄症の患者さんに対するTAVIは、日本トップクラスの年間症例数、累積症例数を経験しています。循環器内科と心臓外科を中心としたハートチームで良好な成績を維持しており、さらなる低侵襲治療を目指して取り組んでいます。